

尚郡のこころとて

里利家の事
ありは

里利家没

尚後應永元年九月中旬

義海公
此代

十二ヶ所小式土を築て郡中を警衛す是

を十二堂と稱す十二堂といふは古尾津

鉾川子吉仁加保田城沼保石沢院沢矢崎

玉来下村岩谷是なりとあり又一記に玉

来を除羽根川を加て十二堂とすは説あり

又沼保を玉来版と出づるもの有り可容

を志す是といふ古人今所持する古記を

見て記之巨細ハ下に記を按するに沼保

を玉来版といふ説ハ誤なり一云上出羽

守成時代日野備中を後祖馬友人を下し

て尚郡を檢地す其長十五六
年の事なり一水牯面あり又

万記子八百五十八石九斗五升五合とあり一

記に右記の月記一石五斗五升八斗八斗

より元和八壬戌年と二十年指是をあり

記之其長十五六
年の事なり一水牯面あり又

同一万石石谷あり之儀あり其長十五六
年の事なり一水牯面あり

同三子石石谷とあり其長十五六
年の事なり一水牯面あり

子八百五十八石九斗五升五合より指是